

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成27年度第2回小金井市消防団運営審議会		
開 催 日 時		平成27年10月30日(金) 18時30分～19時16分		
開 催 場 所		小金井市役所 第一会議室(本庁舎3階)		
出 席 者	委員	安田孝昭・野口和史・田中康夫・當麻圭治郎・三笠俊彦・鈴木成夫・ 紀 由紀子・渡辺大三・渡邊正明・川上秀一・松縄忠一		
	その他	稲葉孝彦		
	事務局	天野建司・吉田亮二・原嶋 薫・岡本康夫		
傍聴の可否		可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由				
会 議 次 第		1 小金井市消防災害支援隊の創設について 2 その他		
会 議 結 果		会議次第にそって、下記提出資料の説明・報告を行った。		
提 出 資 料		1 諮問書の写し 2 小金井市消防災害支援隊の創設について		
そ の 他				

審議経過（主な発言要旨等）

議題及び審議結果

会 長 : みなさん、こんばんは。お忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。それではこれより平成27年度第2回小金井市消防団運営審議会を開催いたします。会議に先立ちまして、まず市長からご挨拶をいただきたいと思います。市長、よろしく願いいたします。

市 長 : 改めました、みなさん、こんばんは。大変お忙しい中、またこのような時間帯に、消防団運営審議会ということで、お集まりいただきまして、ありがとうございます。だんだんと肌寒くなってまいりますと、消防署も消防団も忙しくならないようにと思っております。ここまでは平穩にこれたかなと思っております。これからの後半も平穩であって欲しいなというふうに思っております。消防団員の任期も、改選の時期を迎えるということで、各分団の後援会長さんには消防団員推薦委員会を結成していただくことになると思いますが、それらに関しても色々ご足労をお掛けすると思えます。何かとお世話になりますが、よろしく願いいたします。また今日は、小金井市消防災害支援隊の創設に関しまして、前回の審議会においても議題にあがってはいたかと思えますが、消防団に対する支援体制を構築できればと思っております。審議会のはじめに、私から申し上げるのも何なのですが、私自身の任期が12月17日ということで、その前に小金井市長選挙があるわけですが、私は今回、出馬はしないというふうに申し上げておまして、12月17日をもって引退をさせていただきます。皆様には、大変長い間、ご協力やご支援をいただき、誠に感謝申し上げます。まだ、12月17日まで任期はございますので、それまでの間、全力を尽くして市政に取り組んで参りますので、冒頭で大変恐縮ではございますが、ご挨拶をさせていただきました。どうぞ、よろしく願いいたします。

会 長 : それでは本日の議題に入らせていただきます。議題1の「小金井市消防災害支援隊の創設について」を議題といたします。よろしく願いいたします。事務局から説明を求めます。

事務局 : 前回の7月27日の審議会におきまして、市長から「小金井市消防災害支援隊の創設について」ということで、諮問させていただきました。その後、協議の中で各委員からいくつかのご意見等をいただきましたので、再度、事務局の方に持ち帰らせていただき、本日改めて提案させていただくものでございます。それでは支援隊の概要及び変更点等について、ご説明させていただきます。

それでは、お配りいたしました資料の方をご覧ください。支援隊の考え

としては、経験豊富な知識及び技術を持って退職された消防団員の方々に、「消防災害支援隊」として登録してもらい、地震等の大規模災害時に消防団活動を後方から支援等をしていただく制度として考えております。

次に前回からの検討経過でございます。資料2の3番をご覧ください。

3. 対象者というところでございます。対象者の経験年数でございますが、前回、多々ご意見をいただきました。対象者としましては、やはり一定の経験や知識を兼ね備えているということなどを考慮いたしますと、2期4年以上の経験をした者が、支援隊員として妥当ではないかと判断させていただきました。前回の審議会におきまして、検討させていただくということになっておりましたが、このままの形であればと思っております。

次に、4. 支援隊の位置づけに関してでございます。(2)の任期につきましては、2年ということで、こちらのほうもご意見をいただきましたが、現在の消防団員との関わり、また他市の状況を調査させていただきました。その中で、やはり2年が妥当ではないかと判断いたしましたので、任期につきましては、原則2年ということでお願いしたいと思っております。ただし、引き続き支援隊員として活動いただける方につきましては、再任の方をお願いしたいと思っております。

続きまして、(3)の登録者数についてでございます。こちらについては、前回の本審議会でのご意見、また、分団長会議においてもご意見がございました。こちらのほうも他市の状況等を考慮した結果、ボランティアとして活動していただく上で、上限を設ける必要性があまり無いのではないかとということで、判断させていただきました。今回は、登録者数については、定数なしということで、修正させていただいたものでございます。

また、支援隊員の選任につきましては、推薦委員会の方々等にお申し、隊員の方には登録していただきまして、市長の委嘱というような形で考えているところでございます。

続きまして、裏面をご覧くださいまして、9. 災害補償に関してでございます。こちら前回審議会におきまして、災害ボランティア保険についてのご意見をいただきました。事務局としましても、万が一に備えられればと思っております。今回、東京都社会福祉協議会のボランティア保険について、確認をしたところ、加入できる旨の回答を得られましたので、予算措置等も必要となってきますので、加入する方向で、準備していきたいと考えております。

なお、最後になりますが、小金井市消防災害支援隊につきましては、設置基準といたしまして、要綱を策定したいと考えております。説明は以上

でございます。

会 長 : わかりました。それでは、ただ今の件につきまして、各委員からご発言等がございましたら、お願いします。

渡辺委員 : 議題につきまして、ご提案ありがとうございます。色々と練られて、こういう形にまとまったものと理解しております。ちょっと参考までに伺っておきたいのですが、2期4年を経験した方に限定した編成ということですが、それぞれ市内には5個分団あるわけですが、なかなかどれぐらいの方々がなっただけか想像しにくいところではあります。概ね分団ごとに何名ぐらいの隊員さんがいていただくというようなことを事務局としては想定されているのか。また、支援隊の中では、特に隊長を決めたり、部長を決めたりというような指揮命令系統は無いということで、それはあくまで分団長の監督の下で、隊員はみなフラットだと平等ですよということで、隊の中では特段の序列は設けないということで良いのかという2点だけ、伺いたいと思います。

事務局 : それでは、まず1点目の件でございます。こちらの想定といたしましては、今回、支援隊員の方に支給するものが帽子とベストというところで、先ほどもお話ししましたが保険の関係がございます。今ちょうど、予算編成の時期でございますが、平成28年度に向けて、人数についてある一定、想定していかなければならないのかなと考えているところでございます。事務局としても、どれぐらいの方が集まるのかというところは、分からない部分もあるんですけれども、想定としては各分団で4・5人程度かなというところで、今後、予算要求等を財政課とも進めて行きたいと、考えております。

2点目でございます。支援隊の中で、隊長・副隊長を設置するというご意見だと思います。こちらのほうにつきましては、他市を参考に、確かに渡辺委員のおっしゃるとおり、隊長1人、副隊長2人とか、色々要綱の中でも指定しているところはございます。しかし、災害時にご家族等の事情が許す範囲の中で、活動をお願いしておりますので、その中で隊長が来ていない、副隊長が来ていないということにもなりますので、その辺につきましては、分団長をはじめとする消防団の指示に従って、活動していただくということになりますので、今のところ、隊長・副隊長というのは考えておりません。以上です。

会 長 : 他にご意見はございませんか。

鈴木委員 : だいたい考え方が整理されて、分かりやすくなったのかなというふうに受け止めております。私の方から1点だけ伺いたいのは、推薦についてなんです。推薦については、通常、消防団員の推薦をお願いしている消防団

員推薦委員会になるのか、それとも各分団の方からの依頼になるのか、この辺の考え方が整理されていれば、お教えいただきたいと思います。

事務局 : その点については、非常に悩ましいところではございましたが、どのようにしたら良いのか検討していたところでございます。今のところ考えておりますのは、消防団員の改選に向けて、今度、推薦委員会を立ち上げていただくこととなりますが、推薦委員会をベースに、お願いできればなど考えております。来週からの団員改選説明会等もございますので、そういった中でお話をさせていただいて、そこで登録に向け説明をしていきたいと思っております。

会 長 : 各委員より、ご審議いただいたところではございますが、小金井市消防災害支援隊の創設にあたりましては、関係各委員に大変なご苦勞をお掛けすることと思っております。貴重なご意見をいただきましたので、その内容を十分に踏まえまして、答申案を作成したいと思います。文案につきましては、会長に一任と言うことで措置したいと考えますが、いかがでしょうか。

— 異議なしの声多数 —

会 長 : 特になければ、以上のように決定させていただきます。なお、各委員には、答申後に写しを送付することといたします。それでは、議題1の「小金井市消防災害支援隊の創設について」を終了いたします。

次に、議題2の「その他」を議題とします。各委員から、何か、ご発言がありますでしょうか。無いようですので、事務局から次の説明をお願いします。

事務局 : それでは、平成27年第3回小金井市議会定例会の一般質問においてです、2点の消防団に関するご意見ご要望をいただきましたので、ご報告させていただきます。

まず、1点目でございます。1点目は、消防に女性の視点を生かし、男女共同参画を推進し、女性の社会参画を進めるためにも、女性消防団員を登用してはどうかというご要望をいただきました。今後につきましては、女性消防団員について、どのような形で力を発揮していただくか、本審議会の皆様のご意見や消防団員の方々のご意見、色々な方のご意見伺いながら、また他市の状況等も勘案しながら、今後、検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、2点目でございます。市役所新入職員への消防団入団研修の実施をしてはどうかというご要望をいただいたところでございます。こ

ちらについては、陳情書も提出され、審査が行われているところでございます。今後、こちらについても、皆様のご意見を伺うこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

会 長 : このことにつきまして、何かご意見・ご質問がございましたら、お願いいたします。

紀委員 : 女性の視点を生かした防災対策のためにも、男女共同参画の意味でも、消防団に女性を登用してはどうかと、質問させていただきました。まずは、本団付けで女性の方には入団していただいて、市民に対する火災予防などの啓発をしていただければ、様々なところで女性の視点を生かした防災対策を進めていけるのかなと思っております。

会 長 : 他にご意見等はございますか。

委 員 : なし

会 長 : ご意見はないようですので、以上を持ちまして、平成27年度第2回小金井市消防団運営審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。